

中学校長挨拶

緑豊かな自然と素晴らしい環境に恵まれ、歴史と伝統の薫り高い茶釜の里、高山の地で生駒市立生駒北中学校は、昭和22年4月に北倭村立北倭中学校として創設され、本年で70年目を迎えます。

保護者及び地域の皆様には、日頃より学校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

本校の教育は、調和のとれた人格の感性をめざし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成をめざし、それを校訓として「聡明・純真・健康」と銘打って取り組んでまいりました。

また、挨拶が響き合う気持ちの良い環境の中、皆の心を一つに、素晴らしい伝統と校風をもつ学校であります。そして中学生として、自ら積極的に学ぼうとする姿勢、興味や関心を持って、学習に取り組み、本校の生徒である誇りと自覚・責任を持って、何事にも失敗を恐れず、挑戦し続け、個性を伸ばしてやるのが大切であると思います。

本年度より小中一貫教育をスタートしました。義務教育9年間を一つのスパンとした小中学校間の連携システムを構築し、自ら学び自ら考え、自ら課題を解決できる自立性、社会性を持った児童生徒を育成することをねらいとしています。

また、学習指導要領に基づき9年間を見通して弾力的に実施することで基礎基本の定着や小学校から中学校への移行をスムーズにし、学力向上を図ることも目的としています。

全教職員の共通理解のもと、特色ある学校づくりに努め、生徒が「学校へ行くのが楽しい」と言える学校づくりの推進に努めます。

より高い教育効果をあげるためには、保護者並びに地域の皆様のご理解・ご協力、そして、温かいご支援が必要となりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成28年4月

生駒市立生駒北中学校長
小中一弘

小学校長挨拶

生駒北小学校は今年度から生駒北小学校の校舎にて小学生が180名、中学生が99名で小中一貫教育を開始しました。教育目標は小中共通で『一人一人が輝き、笑顔いっぱいの学校 ～学校へ行くのが楽しいと感じる学校づくり～』として「確かな学力」「豊かな心」「健康でたくましい体」の3つの柱からなります。

中学生は昨年の2学期からすでに小学校の校舎に引っ越してきていましたので、学校生活を共に過ごすようになっておよそ1年がたちました。その間、小学生の挨拶の様子や集会への参加の態度が格段によくなったように感じています。最初の出会いで中学校の生徒会から小学生の手本となるような行動を心がけたいという話がありました。その時から小学生は中学生の礼儀正しさを見習っているようです。

小中が一緒になっての大きな特徴は中学校の先生に小学生が教わる時間ができたということです。算数科において高学年では小学校の担任と少人数指導の担当、それに中学校の担任が同じ教室でチームを組んで指導にあたっています。そのほかに外国語活動や体育においても複数で授業を行っています。また、図工科は中学校の先生が小学校に、音楽科は小学校の先生が中学校に教えに行っています。今後は徐々にではありますが、小学校の高学年でより専門性を生かした指導がなされることが期待されます。

平成29年度からは新校舎にうつります。設計によると、茶道体験ができる和室、地域の会合ができる開放ゾーン、自然の風を取り込んで涼を得るシステムなど、魅力いっぱいの施設ができます。その施設の立派さに負けないようにすばらしい施設一体型の小中一貫教育を行いたいという気持ちでいっぱいです。その一つとしてICT教育に取り組み、子どもたちにわかりやすい授業を提供することや学習意欲を高める研究に励みます。研究を進めることで主体的に学ぶ子どもたちの育成に努めたいと考えます。

本校の校区は学校教育にとっても協力的で保護者はもとより地域にお住まいの方々も行事のお手伝いやボランティア活動など、熱心に参加してくださっています。校区にある高山地区は古くから茶釜づくりが盛んで、茶釜組合の協力のもと、茶釜に愛着を感じる取り組みを展開しています。また、老人会との交流や幼稚園との交流も大切に、地域とのつながりを大事にしながら、地域に愛される学校を築きたいと考えます。今後とも学校教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

平成28年

生駒北小学校 校長

山 本 均